

## 災害対策専門研修「小規模自治体防災コース」開催結果

人と防災未来センターでは、防災専門の部署を設置していない市町村の防災担当者を対象に、学識者・実務者による講義を通して、小規模自治体のメリットを活かした対策など、小規模自治体であればこそ可能な対応等について学習し、小規模自治体の防災力の向上を目的とした「小規模自治体防災コース」を下記のとおり開催しました。

### 記

#### 1 日 時

平成16年11月25日(木)～平成16年11月26日(金)

#### 2 場 所

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター  
「防災未来館」5階プレゼンテーションルーム

#### 3 受講者の所属

近畿地方を中心に北は愛知県鳳来町から南は宮崎県日向市まで西日本各地から参加があった。

##### (1)地域別

| 兵庫県 | 近 畿<br>(兵庫県除) | 北海道 | 東 北 | 関 東 | 中 部 | 中国・<br>四国 | 九 州 | 総 計 | 団体数 |
|-----|---------------|-----|-----|-----|-----|-----------|-----|-----|-----|
| 3   | 7             | 0   | 0   | 0   | 5   | 4         | 2   | 21  | 19  |

##### (2)規模別

| ～10,000 | 10,000<br>～30,000 | 30,000<br>～50,000 | 50,000<br>～70,000 | 70,000～ | 総計 |
|---------|-------------------|-------------------|-------------------|---------|----|
| 8       | 7                 | 3                 | 2                 | 1       | 21 |

#### 4 評価と課題

- ・テーマとしても新しいものであり、昨年度に続き2回目の実施であるが、西日本各地から定員を超える受講希望があり、小規模自治体における防災力向上への関心の高さがうかがえた。
- ・研修に対する満足度の点数評価(100点満点)の平均点は90点であり、高い評価を得た。
- ・評価レポートの記載内容から判断すると、実際に大規模災害に対応した自治体職員からの実体験に基づく講義が高い評価を得た。

- ・小規模自治体の特性を生かした防災対策のヒントになった。貴重な情報を得ることができた等の評価があった。
- ・一方で、2日間という限られた日程のなかで、「時間が不足していた。」「質疑応答、意見交換の時間を長くしてほしい。」という意見が散見された。

コースの概要は別添のとおり

## 「小規模自治体防災」コース カリキュラム

1日目（11月25日〔木〕）

9:30～10:20

開講式・オリエンテーション

10:30～12:00

1限：自助・共助による防災

講師：室崎益輝 上級研究員

概要：行政の限界（公助の限界）を念頭に、災害応急対応時における住民と協働した効果的な防災活動（避難所自主運営等）やその準備としての予防対策等について学ぶ。

12:45～14:15

2限：小規模自治体による災害対応事例

講師：富永登志也 北淡町総務課副課長（当時：災害対策本部事務局員）

菅井竜彦 西枇杷島町福祉部参事（当時：総務部長）

概要：北淡町（阪神・淡路大震災/1995）及び西枇杷島町（東海豪雨/2000）の当時の対応（直前対応、救助・避難所運営等応急対応、復旧・復興対応等）の現実について学ぶ。

14:30～16:00

3限：危機管理総論 - 小規模自治体のために -

講師：河田恵昭 人と防災未来センター長

概要：国内外の小規模自治体の対応事例やこれまでに得られている防災に関する知見の紹介等を交え、小規模自治体が進むべき道について学ぶ。

16:30～18:00

4限：小規模自治体先進事例

講師：日野宗門 財団法人消防科学総合センター研究開発部長

概要：災害予防対策、災害応急対策等に関する小規模自治体の先進事例を紹介するとともに、その事例の防災対策における実践的な意味を解説する。

2日目（11月26日〔金〕）

10:00～11:30

1限：センター展示施設見学

阪神・淡路大震災の被害状況や発生した事象について、語り部ボランティアによる震災時の対応状況や展示の解説を交えて見学する。

12:45～14:15

2限：自治体に望まれる災害対応力

講師：下河内司 総務省消防庁防災課長

概要：防災に関する各種支援制度（補助金等）の背景（考え方）や国として自治体に期待する事柄等について紹介するとともに、自治体財政の現状等も踏まえ、防災対策に関して自治体に望まれることについて講義いただく。

14:30～16:00

3限：小規模自治体による災害対応事例

講師：秦康範 専任研究員

福留邦洋 専任研究員

概要：水俣水害（2003）を例に、小規模自治体防災に関する課題・可能性について学ぶ。

16:00～16:20

閉講式